



平成21年7月31日

各位

会社名 イチカワ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 蛭間 良右
 (コード番号 3513 東証第1部)
 問合せ先 執行役員総務部長 村松 伸一
 (TEL. 03-3816-1111)

業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

当社は、平成21年7月31日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、平成21年5月15日に公表した業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

また、当第1四半期決算において繰延税金資産の取崩しを行いましたので、併せてお知らせいたします。

記

I. 業績予想の修正

1. 修正の内容

(1) 連結業績予想数値の修正

平成22年3月期第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	6,300	20	0	△30	△1円12銭
今回修正予想(B)	5,500	△460	△500	△1,800	△67円08銭
増減額(B-A)	△800	△480	△500	△1,770	—
増減率(%)	△12.7	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期第2四半期)	6,747	317	411	340	12円67銭

平成22年3月期通期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	12,900	100	50	10	0円37銭
今回修正予想(B)	11,300	△800	△820	△2,160	△80円50銭
増減額(B-A)	△1,600	△900	△870	△2,170	—
増減率(%)	△12.4	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	12,593	269	320	0	0円01銭

(2) 個別業績予想数値の修正

平成22年3月期第2四半期累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	5,800	△100	△10	20	0円75銭
今回修正予想(B)	5,100	△600	△550	△1,800	△67円08銭
増減額(B-A)	△700	△500	△540	△1,820	—
増減率(%)	△12.1	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期第2四半期)	5,930	166	357	340	12円67銭

平成 22 年 3 月期通期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	11,700	△200	△130	△70	△2 円 61 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	10,300	△1,100	△1,000	△2,250	△83 円 85 銭
増 減 額 (B-A)	△1,400	△900	△870	△2,180	—
増 減 率 (%)	△12.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	11,380	64	385	146	5 円 44 銭

2. 修正の理由

当第 2 四半期の見通しにつきましては、昨年後半からの長引く景気低迷の影響により、国内の紙・パルプ業界において操業短縮による減産が強化され、また、抄紙用具の在庫調整の影響もあり、抄紙用フェルト及び抄紙用ベルトともに受注が当初計画を大きく下回る見込みとなりました。

また、後述のとおり業績予想の悪化に伴い当第 1 四半期決算において繰延税金資産 1,262 百万円を取崩すことといたしました。

以上によりまして、上記のとおり連結及び個別ともに業績予想数値を修正するものであります。

なお、通期の見通しにつきましては、当第 2 四半期の業績予想の修正に伴い、連結及び個別ともに業績予想数値を修正するものであります。

II. 繰延税金資産の取崩しについて

通期業績予想の悪化を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討いたしました結果、当第 1 四半期決算において繰延税金資産を取崩したことにより、連結及び個別ともに 1,262 百万円を法人税等調整額（税金費用）に計上いたしました。

※ 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在における将来の経営環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値とは異なる場合があります。

以 上